

こども・若者の声を聴く取組について

令和5年4月に発足したこども家庭庁の使命は、「こどもまんなか社会」の実現です。

こども家庭庁は、常にこどもや若者の最善の利益を考えながら政策立案を行うとともに、立案過程において、こどもや若者自身の声を聴き政策に反映させていく、というこれまでの行政にはなかった新しい課題にも取り組んでいます。

また、同年4月に施行された、こども基本法においては、全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されることが基本理念として掲げられるとともに、国や地方自治体がこども施策にこども・若者などの意見を反映する措置を講ずることが義務付けられています。

意見聴取の意義

➡1 つ目の意義

「こどもや若者の状況やニーズをよりの確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる」ことです。こども・若者のニーズを施策に反映させることは、よりよい社会づくりにつながり、またこども・若者の地域社会への愛着を育むことも期待されます。

➡2 つ目の意義

「こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。ひいては、民主主義の担い手の育成に資する。」ものです。

※こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に 向けたガイドライン」抜粋

そのため、子ども計画を策定するにあたり、全国の自治体で子どもの意見を様々な方法で聴取しています。

意見の聴取方法には、主に次の方法があります。

- ・ こども・若者が参加しやすいよう工夫したパブリックコメントの実施
- ・ ワークショップの開催
- ・ イベントの実施
- ・ アンケートの実施

今回、第3期彦根市子ども・若者計画策定に当たっては、アンケートによる意見聴取を行います。

アンケート調査の目的

子どもの状況やニーズを把握、分析したうえで、第3期計画の施策に反映することを目的に実施します。
アンケートの設問構成は、以下のおりです。

設問分類	主な設問の目的
A 自分自身について	子どもの幸福度、悩み、相談相手、スマホ依存を把握
B あなたの家庭について	家庭状況の把握、家庭で満足している事や不満に思うこと、食事やお風呂などの基本的な生活習慣の状況を把握し、家庭で心身ともに健康に過ごせる取組を検討
C 学校について	学校生活で満足している事や不満に思うことから、子どもの視点からの望ましい学校について検討
D 地域社会について	住んでいる地区で満足している事や不満に思うことを把握し、地域ぐるみの子育て支援を検討
E 子どもの居場所について	放課後の居場所づくりの検討のため
F 子どもの権利や尊重について	子どもの権利や自分が尊重されているかの把握と今後取り組んでほしいことの把握
G 子どもの相談先について	相談先の認知度、周知
H 自由記述	自由な意見から、今後の施策について検討

参考：子ども計画策定のためのアンケート調査事例

自治体名	調査対象	調査方法	主な設問
東京都 世田谷区	小・中学生	調査依頼文のみ学校を通じて配布・インターネットによる回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ふだんの生活・将来のこと ・子どもの権利など ・子どもの参加・参画・意見表明 ・(学校生活と)放課後の過ごし方 ・日ごろの思いや悩み・自由意見
	若者	調査依頼文を郵送配布 インターネットによる Web	<ul style="list-style-type: none"> ・ふだんの生活・自分の将来 ・悩みや相談相手 ・地区コミュニティ・区の施設 ・子供や若者の権利・自由意見
京都府 京都市	市内在住の概ね 13～30歳	郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年・若者の意識行動に関する調査
	小学校1年・4年・6年生、育成学級(小学生・中学生)、総合支援学校	Web(保護者が子どもに意見を聞きながら回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の過ごし方等に関する調査
北海道 東広島市	小・中学生	学校で配布されているタブレットを使用し、Web(学校・学校外でも回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもまんなか社会」について ・放課後の過ごし方 ・子どもが身に付けたい能力 ・自由意見
埼玉県 越谷市	小学5年生～中学2年生	学校で配布されているタブレットを使用し、Web(学校・学校外でも回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・家・学校以外の居場所について ・越谷市にこれからどのようなことをしてもらいたい(自由記述)
	15～39歳のこども・若者	郵送配布、郵送・Web回収を併用	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感や幸福感 ・孤独について ・社会生活や日常生活の状況について ・日ごろ感じていること ・こどもや若者に関する市への要望について
大阪市	小学1年生から30代の方	Web	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に関すること・公園に関すること ・保育所、幼稚園に関すること ・子育てサービスに関すること ・公共施設に関すること・その他
千葉県 我孫子市	小学5年生、中学2年生	学校を通して配布 Web	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活・生活の満足度 ・悩みや相談相手 ・将来の夢・どんな大人になりたいか ・将来の仕事について

自治体名	調査対象	調査方法	主な設問
兵庫県 高砂市	中学生・高校生・若者(15~39歳)	中学生・高校生は学校経由で Web 調査、若者は郵送調査	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事・結婚について ・子ども・子育てについて ・乳幼児とのふれあい ・相談先・健康・市の取組について
滋賀県 草津市	市内の中学校(2年生を想定) 市内の高校(1年生を想定) 市内の18歳から39歳の若者	中学生 Web 高校生 Web 調査 (希望者には学校での調査票配布・回収) 若者(郵送・Web 併用)	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所の有無 ・子どもが意見を表明する権利の周知度 ・外出の頻度と暮らしぶり ・情報の入手方法 ・市が取り組む青少年や若者の施策に望むこと ・意見表明への意欲・関心 ・結婚、出産、子育てに必要なサポート ・意見が伝えやすい方法やルール ・市に望む取組の充実 ・悩みを相談する相手の有無、認知度
栃木県	小学校5年生、中学校2年生、高校2年生、大学生 その他の22歳以下の県内在住者	Web	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活 ・理想の家庭と生活 ・子どもの幸福感と孤独度
茨城県 高萩市	小学生(5・6年生) 中学生(2年生) 若者(17歳の年代)	【配布】:学校での案内 【回収】:WEB	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活について ・人とのかかわり ・インターネットの利用状況 ・家庭の状況